

ホクコーファーストオリゼ®プリンス®粒剤 10

■種類名：フィプロニル・プロベナゾール粒剤
■有効成分：フィプロニル-----1.0%
 プロベナゾール-----20.0%
■化管法指定物質：フィプロニル [第1種] -----1.0%
 プロベナゾール-----20.0%
プリンス®=BASF社の登録商標。

■登録番号：第22548号
■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
■登録初年：2009.12.16
■性状：淡褐色細粒
■有効年限：3年
■包装：10kg×1袋

【特長】

- 稲の防御機構を活性化し、いもち病に高い効果を示すプロベナゾールと、フェニルピラゾール系殺虫成分フィプロニルを組み合わせた箱処理剤。
- は種時の育苗箱処理で水稻の主要病害虫の同時防除が可能。移植時処理と同様の長期残効性を示す。

【適用内容】(2024年11月末日現在)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フィプロニルを含む農業の総使用回数	プロベナゾールを含む農業の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病 内穎褐変病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) イネミズゾウムシ ウンカ類 ニカメイチュウ コブノメイガ イネツトムシ イネドロオイムシ イネクロカメムシ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5㍓) 1箱当たり50g	は種時 (覆土前)	1回	育苗箱の床土に均一に散布する。	1回	2回以内 (移植時までの処理は1回以内)

【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせ秤量し、使いきることを。
- 本剤処理後の低温で生育抑制を生じるおそれがあるので温度管理に注意し、適切な育苗につとめること。
- 本剤の処理により、軽度の初期生育遅延や葉の黄化を認めることがあるが、その後回復するので通常の管理を維持すること。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後に田面が露出したりしないよう水管理に注意すること。
- 本田が砂質土壌の水田や漏水田、未熟有機物多用田の場合は使用をさけること。
- 移植後、低温が続く、苗の活着遅延が予測される場合は使用をさけること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 誤食などのないよう注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。
- ❖ フィプロニルによる中毒に対しては、動物実験でフェノバルビタール製剤の投与が有効であると報告されている。
- ❖ 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- ❖ 散布の際は農業用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用すること。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- ❖ 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- ❖ かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようし、施用した作物等との接触をさけること。
- ❖ 夏期高温時の使用をさけること。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないこと。
水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意すること。
散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- ❖ 保管：直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。